



名称	実施期間	概要	対象	実施主体	予算金額（単位：億円）							総採択件数 （2024年12月時点）
					令和元年 （2019年）	令和2年 （2020年）	令和3年 （2021年）	令和4年 （2022年）	令和5年 （2023年）	令和6年 （2024年）	累計	
ポスト5G情報通信システム基盤強化研究開発事業	2019～2024年	・ポスト5G情報通信システムの開発 ・先端半導体設計・製造技術の開発（付随する人材育成や関連調査）	先端半導体（国内にない先端性を持つロジック半導体の前工程・後工程製造技術）	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）	1,100	900	1,100	4,850	6,773	9,916 （注1）	24,639	92
先端半導体の国内生産拠点の確保 〔特定半導体基金事業（注2）〕	2021～2024年	先端半導体の国内生産拠点整備を支援し、安定供給の確保などを旨とする。	先端ロジックなど	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）	—	—	6,170	4,500	6,322	4,714	21,706	6
経済環境変化に応じた重要物資サプライチェーン強靱（きょうじん）化支援事業	2022～2023年	供給途絶がじん大な影響を及ぼす重要な物資に関し、生産基盤の整備、供給源の多様化などの安定供給確保を図るための取組に対し、必要な支援を行う。	半導体（従来型、製造装置、部素材、原料）、クラウド、蓄電池、永久磁石、工作機械・産業用ロボット、航空機部素材、重要鉱物、液化天然ガス（LNG）など	令和4年：民間団体など 令和5年：国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）	—	—	—	3,686 （注3）	4,376 （注3）	—	8,062 （注3）	24 （注3）
サプライチェーン対策のための国内投資促進事業費補助金	2020年および2022年	新型コロナウイルスにより露呈したサプライチェーンの脆弱（ぜいじゃく）性を強化するため、国内生産拠点などの整備を進める。	半導体はじめ生産拠点の集中度が高い製品・部素材	一般社団法人環境パートナーシップ会議（EPC）	—	4,308 （注4）	—	965 （注5）	—	—	5,273	446
サプライチェーン上不可欠性の高い半導体の生産設備の脱炭素化・刷新事業	2021年	国民生活への影響や経済的な損失が大きく、公益性が高い半導体を安定的に供給するための製造設備の入替・増設にかかる事業費を支援する。	マイコンなど、パワー、アナログ	— （注6）	—	—	470	—	—	—	470	30
予算総額（単位：億円）					1,100	5,208	7,740	14,001	17,471	14,630	60,150	—

注1：ポスト5G事業等のうち「AI基盤モデル及び先端半導体関連技術開発事業等」に関するもの。

注2：同予算枠組みにおける、NEDOでの基金・事業名。

注3：半導体関連のみの数字。令和6年は半導体に特化した割当はなく、先端電子部品に9億4,000万円。

注4：第1次および第3次補正予算の合計。

注5：令和4年予算額については、累計からの差額により算出。

注6：民間企業などへの直接補助。

出所：経済産業省やNEDO、EPC事務局のウェブサイトを基にジェトロ作成